

中小規模システムで高信頼なデータ管理・運用を 実現する新ミッドレンジストレージ 「Hitachi Virtual Storage Platform E390」

■ 高信頼なデータ管理・運用技術を ミッドレンジストレージで実現

VSP E390は、エンタープライズストレージのOSをベースに高信頼なデータ管理・運用を実現するミッドレンジストレージです。VSP 5200, 5600と同じくハイブリッドクラウドソリューション EverFlex from Hitachiのデータ連携基盤として活用でき、従来の売り切り型に加え、サブスクリプション型でも提供されます。

■ VSP E390の特長

VSP E390は、次のような特長を備えています (図6)。

より高い信頼性をミッドレンジに

世界中で多くのミッションクリティカルシステムを支えて

いる日立のエンタープライズストレージのストレージ基本OS搭載により、高信頼なデータ管理・運用技術を実現。中小規模のハイブリッドクラウド環境でも、安心・安全なデータ連携基盤を低コストで導入・利用できます。

大容量データへの高速アクセスと環境配慮

フラッシュストレージへのデータアクセスに最適化された通信プロトコルであるNVMeに対応。NVMeの採用が進んでいるエンタープライズストレージのデータ処理方式を継承し、信頼性とデータ処理性能が向上しました。

さらに、VSP E390のデータ処理性能に影響を与えることなくフラッシュデバイスの消費電力を低減する機能により、従来システムと比較して環境負荷を低減します。

より多様なシステムのDXに対応すべく、新製品 VSP E390を提供
エンタープライズと共通のOS、NVMe対応など、高い信頼性・性能を実現



- **エンタープライズストレージVSP 5000シリーズと共通の最新OSを実装**
 - ・日立がこれまで培ってきた高信頼技術を、ミッドレンジクラスのストレージにも適用
 - ・クラウド連携*や、データ管理・運用を容易に導入して利用することが可能
- **最大64PiB! 企業内ストレージを仮想的に統合することが可能**
 - ・機種の異なるストレージ・クラウドストレージを最大64PiBまで統合し、一元的に運用・管理可能
 - ・用途に応じて適切なリソースを割り当て、資産を無駄なく活用
- **データアクセスに最適化された通信プロトコル NVMeに対応**
 - ・大容量データへのより高速なアクセスを可能にし、リアルタイム処理・データ分析を実現
 - ・データ処理性能向上に加え、ドライブの消費電力低減機能もサポートし、省電力化に寄与

*適用については日立営業までお問い合わせください

図6 「Hitachi Virtual Storage Platform E390」の特長